

表現する（書く力）を高める国語学習の工夫 —3年生—

1. 主題設定の理由

- (1) 書くことの大切さ
- (2) 書く力を育てるために
 - ①特設単元で表現の仕方を指導する
 - ②さまざまな場面で書かせ、日常的に指導する
- (3) 児童の実態

2. 研究仮説

- 仮説1. ガイドブック作りを通して、読む人を引きつける構成と表現の仕方の指導方法を工夫すれば、伝えたいことがよくわかる文章を書かせることができるだろう。
- 仮説2. 書く活動を日常的に取り入れ、何をどのように表現すればよいかを学ばせれば、自分の思いや考えを読み手に伝わるように表現させることができるだろう。

3. 研究内容

- (1) 総合的な学習と作文を関連させて、構成や表現の仕方を工夫したガイドブックを作る実践をする。
- (2) 表現する力を伸ばすために、日常的に書かせる実践をする。
- (3) 書くことを大切にした国語科の授業を実践する。

4. 結論

- (1) ガイドブック作りを通して、読む人を引きつける構成と表現の仕方の指導方法を工夫したことで、伝えたいことがよくわかる文章を書かせることができた。
- (2) 書く活動を日常的に取り入れ、何をどのように表現すればよいかを学ばせたことで、自分の思いや考えを読み手に伝わるように表現させることができるだろう。